

第 5 次越谷市障がい者計画

令和 7 年度 進捗状況報告書

令和 8 年(2026 年) 7 月

越谷市 障害福祉課

目 次

1 報告書について	- 1 -
(1) 趣 旨	- 1 -
(2) 計画の位置づけ	- 1 -
(3) 計画の体系	- 1 -
2 進捗状況について	- 3 -
(1) 評価の方法	- 3 -
(2) 数値目標ごとの進捗状況	- 4 -
基本目標1 相互理解・相互尊重を育む	- 4 -
第1章 障がい者の権利擁護等の推進及び障がいに対する正しい理解の促進.....	- 4 -
基本目標2 一人ひとりの意思に寄りそう暮らしの支援基盤をつくる	- 6 -
第2章 保健・医療の充実	- 6 -
第3章 地域生活を支える福祉サービス及び支援体制の充実	- 11 -
基本目標3 さまざまな形での社会参加を促進する	- 16 -
第4章 教育・育成の充実	- 16 -
第5章 雇用・就職の確保	- 16 -
第6章 生涯学習環境の整備・充実	- 18 -
基本目標4 誰もが安心して暮らせる生活環境を築く	- 20 -
第7章 生活環境の整備・充実.....	- 20 -
3 第5次越谷市障がい者計画の総括について	- 23 -

1 報告書について

(1) 趣 旨

本報告書は、「障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会」を基本理念とし、本市の障がい福祉施策を推進している第5次越谷市障がい者計画（以下、「本計画」という。）の進捗状況を管理していくことを目的としています。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である「第5次越谷市総合振興計画」と、本市の福祉関連分野の上位計画となった「第3次越谷市地域福祉計画」を踏まえ、本市の障がい福祉施策の方向を明らかにする部門別計画です。

(3) 計画の体系

本計画は、3つの基本的視点、4つの基本目標、7つの基本方針とこれに紐づく施策を体系的に定め、施策に関連する事業を推進することとしています。また、取組内容を具体的な数値で計ることができる事業については、「数値目標」を設定しています。

《計画の体系》

基本理念	基本的視点	基本目標	基本方針	施策
ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会	1 共生意識の醸成	【基本目標1】 相互理解・相互尊重を育む	第1章 障がい者の権利擁護等の推進及び障がいに対する正しい理解の促進	①障がいを理由とする差別の解消の推進 ②権利擁護の推進 ③成年後見制度の充実 ④広報・啓発活動の推進 ⑤地域での交流と理解の促進
		【基本目標2】 一人ひとりの意思に寄りそう暮らしの支援基盤をつくる	第2章 保健・医療の充実	①疾病の予防と早期発見・早期対応 ②地域療育システムの充実 ③在宅保健サービスの充実 ④障がい者保健・医療体制の充実
	2 自立の支援	【基本目標3】 さまざまな形での社会参加を促進する	第3章 地域生活を支える福祉サービス及び支援体制の充実	①地域生活支援体制の整備 ②生活を支える福祉サービスの充実 ③日中活動の場の確保 ④住まいの場の充実 ⑤地域での支援体制の充実
			第4章 教育・育成の充実	①就学前教育・保育の充実 ②相談の充実 ③学校教育の充実 ④課外活動の充実
	3 社会参加の促進	【基本目標3】 さまざまな形での社会参加を促進する	第5章 雇用・就労の確保	①総合的な就労支援の充実 ②多様な働き方の支援 ③受注機会の拡大
			第6章 生涯学習環境の整備・充実	①生涯学習・スポーツ活動への参加の促進 ②文化芸術活動の促進 ③多様な社会参加の促進
		【基本目標4】 誰もが安心して暮らせる生活環境を築く	第7章 生活環境の整備・充実	①福祉のまちづくりの推進 ②道路・交通環境の整備 ③外出・移動の支援の充実 ④情報アクセシビリティの向上 ⑤防犯・防災体制の整備

2 進捗状況について

(1) 評価の方法

①令和7年度の取組状況 及び 数値目標の達成状況について

181の事業の中で42事業の達成度を図るために設定された数値目標について、下記のとおり進捗管理を行います。

◎	令和7年度に目標値達成
○	計画期間内に2か年以上、目標値達成
△	計画期間内に1か年以上、目標値の80%以上を達成
×	未達成

◎ 達成状況まとめ

		事業数	指標数	◎	○	△	×
基本目標1	第1章	4	4	1	0	1	2
基本目標2	第2章	10	31	11	0	12	8
	第3章	7	14	4	0	5	5
基本目標3	第4章	1	2	0	0	0	2
	第5章	4	7	2	1	1	3
	第6章	4	6	1	0	1	4
基本目標4	第7章	12	13	3	0	6	4
合計		42	77 (100%)	22 (29%)	1 (1%)	26 (34%)	28 (36%)

(2) 数値目標ごとの進捗状況

基本目標1 相互理解・相互尊重を育む

第1章 障がい者の権利擁護等の推進及び障がいに対する正しい理解の促進

施策③ 成年後見制度の充実

項目名	③-2 成年後見制度利用援助事業の充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
相談件数	902件	1,369件	1,786件	1,414件	1,503件	1,868件	1,412件	◎
【取組状況等】 判断能力の不十分な高齢者、障がい者等の権利と財産を守る法的な支援制度である、成年後見制度が身近なものとして活用されるよう、制度の周知や利用啓発、個別相談への対応を行った。また、成年後見制度の利用啓発として、講演会や福祉関係者向け研修、市民向け説明会や出張講座を実施することで、市民や関係機関に対し「成年後見センターこしがや」が相談窓口として広く周知され、成年後見制度に関する相談へとつながった。								
項目名	③-3 市民後見人養成事業の推進							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
新規受任 件数	3件 (うち障がい者1件) (うち高齢者2件)	1件	0件	1件	3件	2件	5件 (うち障がい者2件) (うち高齢者3件)	×
【取組状況等】 市民後見人への支援として、受任中の市民後見人への受任者研修(R7.12月)と候補者名簿登録のある市民後見人に対して継続研修(R7.6月、8月、10月)を実施した。また、候補者名簿登録者に対し、福祉サービス利用援助事業と連携し、研修や実務経験等を通じて必要な知識やスキルを提供することで受任が促進されるよう支援を行い、生活支援員として活動した。受任中の市民後見人の高齢化等により、別の市民後見人へ交代した案件があった一方、新規受任につながる案件が少なかった。								
(内訳) R3 1件(障がい者0件) R4 0件 R5 1件(障がい者1件) R6 3件(高齢者3件) R7 2件(障がい者1件、高齢者1件)								

項目名	③－４ 成年後見制度利用支援事業の推進							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
市長申立 件数	14件 (うち障がい者7件) (うち高齢者7件)	17件	23件	18件	19件	15件	26件 (うち障がい者13件) (うち高齢者13件)	△
【取組状況等】 判断能力が不十分な高齢者で、身寄りがない又は親族による申立てができない場合に、市長による審判の請求を行った。高齢者の単身世帯や親族との関係が希薄な高齢者・障がい者が増加している一方、成年後見センターこしがやの申立手続き支援により、本人申立や親族申立につながる案件もあるため、市長申立件数は減少した。 ・市長申立件数：15件（障がい者3件、高齢者12件） ・成年後見制度報酬助成の件数：42件（障がい者25件、高齢者17件） （内訳） R3 17件（障がい者4件） R4 23件（障がい者4件、高齢者18件） R5 18件（障がい者2件、高齢者16件） R6 19件（障がい者3件、高齢者16件） R7 15件（障がい者3件、高齢者12件）								

施策④ 広報・啓発活動の推進

項目名	④－４ 「障害者の日記念事業ふれあいの日」の充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
「ふれあいの日」 参加者数	5,500人	開催 中止	集計不能 ※				5,500人	—
「ふれあいの日」 ポスター応募点数	47点	44点	34点	58点	20点	22点	60点	×
【取組状況等】 第45回ふれあいの日を、イオンレイクタウンで6月28日（土）に開催した。また、令和7年度より、6月3日（火）～11日（水）まで、越谷市役所エントランス棟多目的ホールを会場に、ふれあいの日ポスター応募作品の展示や市内事業所・福祉団体等の活動紹介の展示を実施した。「ふれあいの日」の開催により、障がいの有無に関わらず、多くの市民が交流するとともに、障がい福祉に対する理解を深める機会を提供することができた。 ※令和4年度から越谷レイクタウンへ会場を移したため								

基本目標2 一人ひとりの意思に寄りそう暮らしの支援基盤をつくる

第2章 保健・医療の充実

施策① 疾病の予防と早期発見・早期対応

項目名	① - 2 健康診査・がん検診等事業の充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
特定 健康診査	受診者数 19,898人	18,152 人	17,729 人	16,326 人	15,110 人	15,206 人	22,200人	△
	受診率 40.9%	39.2 %	41.1 %	39.9 %	39.1 %	41.4 %	60%	
後期高齢者 健康診査	受診者数 15,449人	15,834 人	17,610 人	18,845 人	19,063 人	19,916 人	37,000人	×
	受診率 36.1%	36.9 %	39.5 %	39.4 %	38.4 %	39.0 %	60%	
健康診査 受診者数	335人	350人	339人	360人	330人	353人	435人	△
胃がん検診 受診率	12.1%	10.6%	10.9%	11.5%	11.4%	11.9%	9.1%	◎
肺がん検診 受診率	22.0%	19.8%	21.7%	25.2%	24.5%	24.8%	14.6%	◎
大腸がん検診 受診率	18.4%	17.4%	17.5%	17.3%	17.4%	17.6%	15.1%	◎
子宮頸がん検診 受診率	12.7%	13.1%	11.8%	12.9%	12.9%	12.8%	9.6%	◎
乳がん検診 受診率	21.8%	15.6%	16.9%	16.7%	16.7%	17.6%	16.5%	◎
【取組状況等】 令和7年度において、国の指針による5つのがん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)は、全体で82,033人が受診し、実施医療機関が減少した子宮頸がん検診を除き、前年度より受診者数が増加した。また、検診の周知のため個別通知対象者にナッジ理論を用いた受診勧奨ハガキの郵送、さらに一部の検診未受診者に対し、再受診勧奨ハガキを郵送した。乳がん検診については、骨粗しょう症検診とのセット検診を実施し、受診者数は2,340人、30～50歳代の受診者が増えた。								

項目名	① - 5 母子健康づくり事業の充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
母親学級・ 両親学級開催数 (3日間1コース)	10 コース	5 コース	7 コース	10 コース	10 コース	10 コース	10 コース	◎
育児相談 開催数	31回 (+自由計測日 29回)	30回 (+11回)	30回 (+18回)	32回 (+18回)	35回 (+18回)	35回 (+18回)	43回	△
離乳食教室 開催数	37回	25回	38回	38回	38回	36回	32回	◎
乳幼児栄養 相談開催数	12回	12回	12回	12回	12回	12回	10回	◎
アレルギー教室 開催数	1回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	×
ヘルシーキッズ スクール (2日間コース) 開催数	4回	0回	0回	0回	1回	2回	4回	×

【取組状況等】

母子健康手帳の交付時に全数面接を行い、妊娠期から切れ目のない相談支援のために、伴走型相談支援を実施した。また、助産師・保健師による、乳児家庭全戸訪問事業を実施し、産婦等の育児不安の軽減を図るとともに、産後ケア事業の利用を促進し、母児とその家族が健やかな育児ができるよう支援を実施した。

※「アレルギー教室」はR4より開催見合わせ

項目名	① - 6 健康づくり推進事業の充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
健康 教室	参加人数 7,608人	1,225人	2,691人	3,318人	4,808人	6,136人	7,000人	△
	開催数 388回	73回	166回	316回	277回	200回	350回	
健康 相談	参加人数 2,333人	2,108人	2,325人	2,423人	2,679人	2,851人	2,000人	◎

【取組状況等】

糖尿病教室、生活習慣病予防セミナーなど疾病を誘因する基礎知識の学習機会を提供するとともに、健診結果から生活習慣病リスクの高い方を抽出して健康教室の案内を通知するなど、必要性の高い方の健康づくりを支援した。また、健康長寿を目指し健康に良い取り組みを実践し、健康づくりを家族や友人にも広める健康長寿サポーターの養成講座を開催した。

さらに、埼玉県コバトンALK00マイレージに参加し、楽しみながら健康づくりを推進できるよう、市独自のポイント付与の機会を増やし、3,000ポイントを1口とした抽選を年1回実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、糖尿病教室や生活習慣病予防セミナーなどの各種健康教室の開催回数を制限していたこともあり、コロナ禍前と比べ参加者が少なかったが、5類移行に伴い、徐々に開催回数を増やしたことにより参加者数の回復が図られた。

施策② 地域療育システムの充実

項目名 ② - 2 児童発達支援センターにおける外来発達相談の充実								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
外来発達相談	1,834 件	1,790 件	1,885 件	1,466 件	1,537 件	1,385 件	2,000 件	△
【取組状況等】								
外来（発達）相談として保健師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、公認心理師等による個別の相談を実施した。相談にあたっては、他の関係機関からの情報を共有するなどの連携を図り、より適切な支援の充実を図った。 外来発達相談の件数は年々減少傾向にあるが、その中でも作業療法士による相談は近年増加傾向となっている。また、言語聴覚士による相談は年度ごとに増減はあるが、経年で見るとほぼ横ばいとなっている。民間の事業所が増加し、早期に利用を始める方が増えている反面、民間の療育機関には専門のセラピストが不在であることが背景と思われる。 ・外来発達相談1,385件（作業療法士65件、理学療法士9件、言語聴覚士860件、公認心理師等289件、保健師等162件）								
項目名 ② - 3 早期療育教室の充実								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
いちご教室 開催数	12回	15回	68回	74回	75回	84回	20回	◎
つくしんぼ教室 開催数	113回	139回	85回	68回	50回	74回	120回	△
はとぽっぽ教室 開催数	70回	78回	79回	73回	79回	63回	80回	△
たけのこ教室 開催数	27回	40回	28回	31回	21回	20回	40回	△
【取組状況等】								
心身の発達に支援が必要な低年齢児を対象に、障がい別又は年齢別に療育・訓練・各種相談（作業・理学・言語・心理）を実施した。 計画期間において、感染症対策により教室の定員を減らし実施した期間もあったが、臨時の教室を開催し受け入れ枠を確保した。また、入室希望者が減少傾向にあることから、クラ								

ス数を減らし開催回数を増やす等一人ひとりの支援が充実するよう受け入れ体制を見直し保護者のニーズに対応した。

- ・いちご教室（成長や発達が気になる概ね3歳未満児） 84回
- ・つくしんぼ教室（成長や発達が気になる概ね3歳未満児） 74回
- ・はとぼっぼ教室（成長や発達が気になる概ね3歳以上児） 63回
- ・たけのこ教室（肢体機能に遅れのある1歳以上児） 20回

項目名 ②-5 児童発達支援センターの充実

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
ぐんぐん 利用者数	53人	56人	48人	54人	58人	53人	60人	△
のびのび 利用者数	51人	36人	33人	28人	23人	18人	80人	×

【取組状況等】

知的発達に支援が必要な2歳から就学前の児童を「ぐんぐん」グリーン・ピンク、運動発達に支援が必要な1歳半から就学前の児童を「ぐんぐん」ピンクにおいて、日常生活における動作及び集団生活への適応訓練を実施した。また、作業療法士・理学療法士・言語聴覚士による個別又は集団指導を日常療育の中で行った。さらに、心理士等による心理相談を95回（グリーン55回、ピンク40回）実施した。

市内の保育所（園）、幼稚園に通う児童を対象に、所属集団と連携を図りながら、児童発達支援事業「のびのび」においてグループ指導を行った。専門職が保育所等を訪問する保育所等訪問支援を延べ128回実施し、集団への適応のための支援を行った。

施策③ 在宅保健サービスの充実

項目名 ③-1 訪問事業の充実

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
機能訓練や 精神疾患の 方を対象にした 訪問人数	寝たきり 16人	2人	0人	0人	0人	0人	30人	×
在宅訪問 歯科保健事業 訪問人数	10人	0人	2人	1人	1人	3人	10人	×

【取組状況等】

障がい者、高齢者に対し保健師・栄養士・作業療法士などによる訪問事業、在宅での保健指導及び療養指導できる体制を保持できている。また、歯科医師と歯科衛生士による在宅訪問歯科保健事業を実施している。訪問事業の人数の大幅な増加は見られず、在宅者の支援においては訪問看護、訪問診療のニーズが高く、指導目的での需要は低い傾向にある。

施策④ 障がい者保健・医療体制の充実

項目名		④－４ 精神保健家族教室の充実						
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
家族教室の 開催数と日数	年2回 (延4日)	年2回 (延4日)	年2回 (延3日)	年2回 (延3日)	年3回 (延4日)	年2回 (延4日)	年3回 (延5日)	△
【取組状況等】								
当事者および専門家に講演してもらうかたちで、ひきこもりおよび発達障がいに関する家族（市民）教室を実施し、精神障がいの家族や市民に対して正しい知識の普及啓発活動を行った。								
		ひきこもり市民教室		アルコール依存症の 家族教室				
回数		年1回			年3回			
参加人数		12人			延べ29人			

項目名		④－７ 重度心身障害者医療費の助成						
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
重度心身障害者 医療給付事業 (給付件数)	161,986 件	144,359 件	143,617 件	141,217 件	139,099 件	140,176 件	161,000 件	△
【取組状況等】								
重度心身障害者医療費を支給し、重度心身障害者やその家族の経済的負担の軽減を図った。また、年齢制限(65歳以上で新規手帳取得者以外)導入の影響により、対象者数は毎年約50人程度減少していたが、令和8年1月に精神障害者保健福祉手帳2級所持者を助成対象に加えたことによって、対象者数が約1,500人増加となった。								
対象者数：6,652人（うち、資格停止：264人）								
助成件数：140,176件								
助成金額：539,908,950円								

項目名	④－８ 自立支援医療の推進							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
更生医療 受給者数	456人	649人	713人	681人	765人	847人	750人	◎
精神通院 医療受給者数	5,575 人	6,441 人	6,739 人	7,100 人	7,469 人	7,887 人	8,840 人	△
育成医療 受給者数	28人	25人	26人	20人	17人	11人	130人	×
育成医療 助成件数	32件	73件	58件	37件	37件	35件	160件	×
【取組状況等】 身体障がい者が負担する、その障がい除去・軽減するための治療に関する医療費及び精神障がい者が負担する、精神疾患に関する医療費（入院に関する医療費を除く）を支給した。 また、18歳未満の子どもの身体の障がい除去・軽減するため、手術等の医療費の一部を支給した。								

第3章 地域生活を支える福祉サービス及び支援体制の充実

施策① 地域生活支援体制の整備

項目名	①－２ 相談員の専門性の向上							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
民生委員・ 児童委員の 相談・支援 件数 ※	9,723 件 (251件)	7,278 件 (338件)	7,380 件 (329件)	6,457 件 (281件)	6,481 件 (307件)	6,060 件 (180件)	10,000 件 (300件)	×
【取組状況等】 令和7年度の民生委員・児童委員の相談支援件数は6,060件であり、そのうち障がい者に関することは、180件であった。令和7年度は一斉改選にあたり、約1/4の委員が改選され、相談・支援件数が減少しており、また、障がい者等基幹相談支援センター等の行政サービスに直接相談するケースも増えているため、減少傾向である。 その他、埼玉県内で開催される障害者相談員対象の研修会の周知をし、障害者相談員の専門性が向上するよう支援した。 ※「民生委員・児童委員の相談・支援件数」における（ ）内は障がい者に関すること								

項目名	①－３ 相談支援事業及びピアカウンセリングの展開							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
委託相談支援 事業所での 相談件数	11,569 件	22,924 件	22,806 件	22,968 件	32,566 件	32,235 件	14,500 件	◎
【取組状況等】 各障がい者等基幹相談支援センターとして、障がい者等の相談支援やピアカウンセリングを実施した。また、障害者地域自立支援協議会の相談支援専門部会を6回、基幹相談連絡会を12回開催し、基幹相談支援センターや相談支援事業所間の連携を図った。令和5年度より基幹相談支援センターの設置に伴い、相談支援事業所の認知度が高まったことにより相談件数が増加したと考えられる。 《障がい者等基幹相談支援センター相談件数》 北部障がい者等基幹相談支援センター 8,708件 東部障がい者等基幹相談支援センター 11,954件 南部障がい者等基幹相談支援センター 10,699件 西部障がい者等基幹相談支援センター 3,874件								

施策② 生活を支える福祉サービスの充実

項目名	②－３ 生活サポート事業の充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
障がい児 利用登録者数	256人	144人	185人	223人	223人	277人	260人	◎
障がい児 利用時間数	6,542 時間	7,548 時間	9,848 時間	10,026.5 時間	10,755.5 時間	10,948.5 時間	6,600 時間	◎
障がい者 利用登録者数	302人	343人	356人	371人	396人	413人	504人	×
障がい者 利用時間数	4,200 時間	5,264 時間	6,014.5 時間	5,544 時間	6,766.5 時間	7,715.5 時間	5,311 時間	◎
【取組状況等】 障がい者・児の地域生活を支援するとともに、介護者の負担を軽減するため生活サポート事業を実施した。障がい者・児の増加及び介護者の高齢化などに伴う介護負担軽減を目的とした利用が増加したため、件数、利用時間、利用登録者数は年々増加傾向である。今後も利用者及び利用件数増加が見込まれる。 ※令和7年度市内事業所：26箇所（うち新規指定事業所：2箇所、廃止指定事業所：2箇所）								

《利用状況》

利用総件数 : 4,118件

利用登録者数 : 413人 (障がい児277人)

利用総時間 : 7,715.5時間 (障がい児10,948.5時間)

《利用内容》

一時預かり : 1,133件 3,217.5時間

介護派遣 : 98件 136時間

外出援助 : 2,887件 4,362時間

項目名 ②-6 家族介護支援事業の推進

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
家族介護教室 参加人数	31人	24人	21人	15人	15人	15人	40人	×
認知症 サポーター 養成者数	4,926人	2,596人 (累計 46,124人)	3,330人 (累計 49,545人)	3,378人 (累計 52,832人)	3,050人 (累計 55,882人)	3,150人 (累計 59,032人)	累計 63,000 人	△

【取組状況等】

家族を介護している方の身体的・精神的負担の軽減を目的として、「ケアラーのためのこころを軽くする学びの場」と題した講演会を実施した。家族を介護しているケアラーには心身ともに負担があり、講義と対話の時間を設ける形で知識の習得及び思いを吐露することにより気持ちが楽になるといったピアカウンセリングの効果があり、好評を得た。

また、認知症ご本人の講演を実施し、認知症への理解をさらに深めることにより、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指すため、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である認知症サポーターを養成する講座を地区センター等の公共機関で実施。地区センターの他、市内小中学校や大学、企業等で計48回実施し、認知症サポーターを3,150人養成した。

項目名	②－８ 補装具の利用促進							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
身体障がい児 補装具購入・修理	405件	359件	396件	310件	279件	325件	410件	△
身体障がい者 補装具購入・修理	359件	318件	350件	346件	387件	357件	363件	△
【取組状況等】 補装具を必要とする身体障がい者等に対し、補装具費を支給した。本事業は、高額な義足や電動車椅子など支給する補装具の内容によって支出額に大きな差が生じるが、継続的かつ適切な支給が行うことができた。 品目：義肢、装具、視覚障害者安全杖、車椅子、補聴器、眼鏡、義眼等								

施策③ 日中活動の場の確保

項目名	③－２ 障害者福祉センターの機能充実							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
団体 利用者数	13,423 人	7,376 人	7,699 人	8,076 人	9,876 人	11,772 人	15,500 人	×
個人 利用者数	5,628 人	3,910 人	4,759 人	4,931 人	4,712 人	6,058 人	6,800 人	△
見学者数	61人	67人	24人	31人	7人	47人	110人	×
【取組状況等】 障害者福祉センターこぼと館において、手話通訳者・要約筆記者養成講習会をはじめとする支援者育成事業や、あいあい茶ろんなどの自立支援事業、絵画教室などの余暇支援事業などを柱に事業を実施した。令和7年度は、新規事業の開催や部屋の利用希望等により、前年度と比較し団体・個人利用者数、見学者数が増加となったが、目標値には届かなかった。								

施策⑤ 地域での支援体制の充実

項目名 ⑤－５ 民間サービス事業者の育成								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
集団指導 出席率 (出席状況)	93.8% (150/160)	52.6% (175/333)	95.5% (340/356)	66.8% (268/401)	91.8% (384/418)	85.6% (401/468)	90.0%	△
【取組状況等】 国、県からの通知等について情報提供や周知を図った。また、情報公表制度の施行により質の高いサービスを促すとともに事業者からの運営や報酬の基準にかかる相談について、回答・説明を行うことにより事業所の適切なサービス提供に繋げた。また、適正な施設・事業運営、各種サービス等の質の確保及び費用請求の適正化を図るため、実地にて定期及び随時の指導監査を実施した。なお、講習等の方法で実施する指導(集団指導)については、集団指導資料を市ホームページに掲載後、資料確認報告を電子申請にて行ってもらった形式とした。 令和7年度は、障害福祉サービス468サービスを対象として実施し、うち401サービスから電子申請にて資料確認の報告があった。								

基本目標3 さまざまな形での社会参加を促進する

第4章 教育・育成の充実

施策① 就学前教育・保育の充実

項目名		①－2 交流保育の充実						
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
児童発達支援センターの 公立保育所への 訪問回数・訪問人数	訪問回数 6回	0回	0回	0回	2回	3回	8回	×
	訪問人数 70人	0人	0人	0人	30人	44人	80人	
公立保育所による 児童発達支援センターへの 訪問回数・訪問人数	訪問回数 3回	0回	0回	1回	3回	4回	8回	×
	訪問人数 42人	0人	0人	22人	58人	86人	100人	

【取組状況等】

児童発達支援事業「ぐんぐん」グリーン・ピンクと公立保育所・私立保育園の交流保育を実施した。計画期間において、コロナ禍で休止している期間があり、感染症発生等で実施できないときもあったが、年々少しずつ回数を増やしながら交流保育で地域のこどもたちと直接関わる機会を継続的に設けてきた。

第5章 雇用・就職の確保

施策① 総合的な就労支援の充実

項目名		①－1 障害者就労支援センターの充実						
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
相談件数	1,958 件	2,498 件	2,745 件	2,639 件	2,575 件	3,000 件	2,480 件	◎
支援登録人数	100人	141人	114人	111人	110人	136人	100人	◎
年間就職件数	77件	108件	100件	75件	101件	93件	100件	○
【取組状況等】								
障害者就労支援センターにおいて、障がい者やその家族、障がい者を雇用している又は雇用しようとする事業者を対象に就労に関する相談を受け、その内容に応じた支援を行うとともに、障がい者の多様な就労形態を模索する地域適応支援事業として、障がい者の職場参加・職場実習を実施した。								

施策② 多様な働き方の支援

項目名 ②－２ 障害者地域適応支援事業の充実								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
障害者地域適応支援事業 参加者数	20人	16人	20人	18人	25人	31人	60人	×
障害者地域適応支援事業 実習職場数	18か所	12か所	16か所	16か所	18か所	25か所	40か所	×
【取組状況等】 令和7年度は新規の実習先が1か所増え、実習職場数が25か所、参加者数が31人となり、令和6年度と比較して増加したが、目標値には届かなかった。								
項目名 ②－３ 障害者就労訓練施設しらこぼとの充実								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
施設 利用者数	18,387 人	6,637 人	7,008 人	7,596 人	6,767 人	7,205 人	23,000 人	×
【取組状況等】 就労に向けた講座（パソコン講座、面接対策等）を希望者に個別で行うとともに、市内障害福祉サービス事業所の販売訓練の機会の提供など就労訓練に関する事業を行った。また、障害者福祉センターこぼと館との共催により「こころのアート展」を、障害福祉サービス事業所等の生産品の展示・販売会として「しらこぼとマルシェ」をイオンレイクタウン及び市役所エントランス棟ロビーにおいて開催し、地域住民等との交流機会の確保と工賃収入の向上に努めた。 ※ 総利用者数の集計方法を変更したため、目標値を下回る数値となった								
項目名 ②－５ 指定障害福祉サービス事業所「しらこぼと」の充実								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
延べ 利用者数	10,851 人	10,773 人	10,642 人	10,688 人	10,625 人	10,189 人	11,800 人	△
【取組状況等】 就労移行支援事業では、就労に必要な知識や技術習得のための訓練や実習など一般就労を目的とした支援を行った。また、就労定着支援事業では、一般就労した利用者、また就労先や関係機関等との連絡調整など、就労定着に向けた支援を行った。 就労継続支援B型事業では、一般企業等での就労が困難な利用者に授産作業、パン等の生産・販売活動の場を提供し工賃収入の向上を図るとともに、就労等に必要な知識の取得や能力向上のための訓練を行った。								

第6章 生涯学習環境の整備・充実

施策① 生涯学習・スポーツ活動への参加の促進

項目名	①-2 スポーツ・レクリエーション教室及び講座等の開設							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
スポーツ教室 実施回数	7回	4回	7回	4回	4回	7回	10回	×
スポーツ教室 延べ参加人数	61人	16人	77人	58人	161人	131人	100人	◎
【取組状況等】 平成23年度から埼玉県障害者交流センターの地域支援事業を活用し、障害福祉課、越谷市社会福祉協議会、埼玉県障害者交流センターとの共催により「障がい者スポーツ教室」を開催している。平成25年度をもって、埼玉県障害者交流センターの地域支援事業が終了し、平成26年度からは、単独事業で実施し、障害福祉課と連携を図り行った。 障がい者スポーツ教室を障害者就労訓練施設しらこぼとで全3回行ったほか、特別養護老人ホーム等において、出前講座を開催した。計画期間において、感染症対策を取りながらの開催となったが、障害福祉課並びに障害福祉サービス事業所との連携を強化し、新規参加者の獲得と全体の参加者の増加を目指しつつ、教室を実施した。 《障がい者スポーツ教室実績》 ①令和8年2月4日、2月12日、2月25日 全3回 種目：ボッチャ、リズム体操等 参加者：39人 ②令和8年2月26日、3月3日、3月11日、3月17日 全4回（出前講座） 種目：音楽に合わせボールを使ったストレッチやマッサージ 参加者：施設利用者92人								
項目名	①-4 生涯学習・スポーツ指導者の養成及び確保							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
障がい者 スポーツ指導員	8人	9人	8人	8人	6人	8人	15人	×
障がい者 スポーツ指導員 延べ派遣者数	36人	19人	23人	14人	15人	15人	40人	×
【取組状況等】 スポーツ教室・スポーツ講座・各種大会等において、より充実した指導等を発揮させるため、研修会をととして、市内におけるスポーツ指導者の養成と資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの推進・振興に努めた。								

《研修会内容》
日時：令和8年3月8日（日） 越谷市地域スポーツセンター
テーマ：「ユニバーサルスポーツの理論と実践」
参加者：26人
共催 越谷市教育委員会、文教大学

施策② 文化芸術活動の促進

項目名		②－３ 趣味グループの育成						
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
こばと館各室 利用サークル数	15団体	17団体	17団体	12団体	11団体	11団体	21団体	△
【取組状況等】								
障害者福祉センターこばと館に登録している趣味グループに対し、こばと館の団体室や社会適応訓練室等を貸出するとともに、作成した作品等をこばと館文化祭にて展示を行うなど趣味グループの育成を支援を実施したが、目標値に届かなかった。								

施策③ 多様な社会参加の促進

項目名		③－１ 障がい者団体の育成						
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
こばと館団体 利用者数	13,423 人	7,376 人	7,699 人	8,076 人	9,876 人	11,772 人	15,500 人	×
【取組状況等】								
障害者福祉センターこばと館において、障がい者団体の育成のために社会適応訓練室等を貸出するなどの支援を行うとともに、障がい者団体で作成した作品等をこばと館文化祭にて展示を行うなど社会参加の機会を提供した。令和7年度は、新規事業の開催や部屋の利用希望等により、前年度と比較し団体利用者数は増加となったが、目標値には届かなかった。								

基本目標4 誰もが安心して暮らせる生活環境を築く

第7章 生活環境の整備・充実

施策① 福祉のまちづくりの推進

項目名	①-3 土地区画整理事業の推進							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
街路延長 距離	30,445m (40m)	30,630m (185m)	30,755m (125m)	31,037m (282m)	31,178m (141m)	31,340m (162m)	34,800m	△
【取組状況等】 道路・歩道等の段差解消や電柱の歩道外設置、障がい者等が安全に安心して通行できる歩行空間の整備を実施した。 西大袋土地区画整理事業地内 街路延長 162m ※（ ）は単年度の延長実績								
項目名	①-5 小中学校施設のバリアフリー化の整備							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
福祉環境整備 事業達成率	77.7% (35校)	80.0% (36校)	81.8% (36校)	81.8% (36校)	84.0% (37校)	86.3% (38校)	91.1% (41校)	△
【取組状況等】 福祉環境整備事業として、バリアフリー化に向け計画的に整備を実施した。計画期間において、バリアフリー化率は77.7%・35校から86.3%・38校まで向上した。限られた予算の範囲内で対応可能な工事を実施しているため、目標達成とはならなかったが、今後も計画的にバリアフリー化を進め、早期の目標達成を目指す。								

② 道路・交通環境の整備

項目名	②-1 歩道の整備							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
整備計画 延長	49m	210m	165m	520m	141m	162m 総延長 1,198m	5年間 総延長 6,400m	×
【取組状況等】 安全で快適な歩行空間を確保するため歩道整備を実施した。駅周辺や公共施設周辺及び都市計画道路の歩道整備に合わせ、区画整理地内や市役所周辺の道路、各公共施設において進捗があった。しかしながら、用地取得が難航している路線があり目標値には至らなかった。								

項目名	②－２ 視覚障がい者誘導用ブロックの敷設							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
整備計画 延長	0m	279m	165m	233m	137m	72m 総延長 886m	5年間 総延長 3,847m	×

【取組状況等】

視覚障がい者の歩行の安全を確保するため、視覚障がい者誘導用ブロックを整備した。駅周辺や公共施設周辺及び都市計画道路の歩道整備に合わせ、区画整理地内や市役所周辺の道路、各公共施設において整備した。しかしながら、用地取得が難航している路線があり目標値には至らなかった。

項目名	②－４ 放置自転車等対策の推進							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
放置自転車撤去・ 移送台数	1,851 台	1,037 台	1,096 台	818 台	789 台	596 台	1,350 台	◎

【取組状況等】

市内各駅に自転車等誘導整理員を配置し、駅周辺の道路や歩道上にある放置自転車等の駐輪場利用の指導や整理、及び撤去を実施した。令和7年度については、市内の各駅周辺において、年間596台の放置自転車等を撤去し、各駅周辺の通行環境の改善を図るとともに歩行者の安全及び自転車等の交通に係る事故防止を図った。市内の整理区域内に一定期間放置された自転車等を整理・撤去することで駅周辺の駐輪秩序を保持し、放置引取りのない放置自転車については、国内外への売却などリサイクルの推進に努め、資源の有効利用を図った。

施策③ 外出・移動の支援の充実

項目名	③－２ 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成券の交付							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
交付人数	4,467人	4,564人	4,618人	4,628人	4,690人	4,698人	5,400人	△

【取組状況等】

在宅重度障がい者の外出を支援するため、福祉タクシー利用券または自動車燃料費助成券を交付し、費用の一部を助成した。

登録者数：5,912人（令和7年度末時点）

項目名	③－３ 自動車運転免許取得費の助成							
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
助成件数	3件	7件	4件	7件	9件	2件	7件	△

【取組状況等】

自動車運転免許の取得によって自立が見込まれる障がい者に対し、自動車運転免許取得に要する費用の助成を行った。年度により助成件数の増減はあるが、自動車運転免許取得に要

する費用を助成することにより、障がい者の社会参加及び自立の支援につながった。
※免許取得費用の2/3を助成（限度額12万円）

項目名 ③－４ 自動車改造費の助成

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
助成件数	5件	1件	1件	3件	6件	3件	5件	△

【取組状況等】

身体に障がいがあり、所有する自動車を自ら運転できるよう改造する方に対し、自動車改造に要する費用の助成を行った。年度により助成件数の増減はあるが、自動車改造費を助成することで、障がい者の社会参加及び自立を支援することにつながった。

※手動運転装置等の自動車改造費用を助成(限度額10万円)

項目名 ③－１０ 全身性障害者介護人派遣事業及び知的障害者介護人派遣事業の充実

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
全身性障害者 介護人派遣時間	8,844 時間	6,281 時間	5,085 時間	4,504 時間	4,138 時間	3,851 時間	9,300 時間	×
知的障害者 介護人派遣時間	4,469 時間	2,963 時間	2,858 時間	2,988 時間	2,093 時間	1,629 時間	5,029 時間	×

【取組状況等】

外出援助等の介護人を派遣することにより、身体障がい者や知的障がい者の生活圏が広がり、社会参加の促進が図られた。

全身性障がい者介護人派遣時間について、利用者の高齢化などにより、外出先や外出時間が減少し、各利用者の1回あたりの利用時間が減少していると考えられる。また、知的障がい者介護人派遣時間については、法定サービス（行動援護など）や移動支援事業への移行により、派遣時間数が減少傾向と考える。

施策⑤ 防犯・防災体制の整備

項目名 ⑤－３ 災害時支援バンダナの配布

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
バンダナ 配布枚数	567枚	233枚 累計配布 2,259枚	215枚 累計配布 2,474枚	202枚 累計配布 2,676枚	145枚 累計配布 2,821枚	150枚 累計配布 2,971枚	累計配布 2,750枚	◎

【取組状況等】

災害時支援バンダナについて、「越谷市の障がい者福祉ガイド」や越谷市公式ホームページへの掲載により周知を行った。

また、障害福祉課及び子ども福祉課の窓口において、手帳交付時等にチラシを用いて案内を行うとともに、希望者への配布を行った。

項目名 ⑤－５ 自主防災組織の育成・強化								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
自主防災組織率	90.70 %	92.0 %	92.1 %	93.1 %	93.3 %	93.10 %	92.50 %	◎
【取組状況等】 自主防災組織の整備促進として、自主防災組織の役割、地域で顔の見える関係を築くことや自助・共助の必要性、避難行動要支援者支援制度について、出張講座や自主防災組織リーダー養成講座等で周知をした。 また、活動の支援として、車いすやストレッチャー、その他防災に関する資器材の購入や、地域の防災訓練等の活動費に対して補助金を交付しており、令和7年度は194件、11,754,000円の交付を行った。								
項目名 ⑤－６ 地域ぐるみの協力体制の整備								
指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
避難行動要支援者支援制度における自治会の賛同率	50.66 %	51.19 %	50.92 %	51.06 %	51.18 %	51.86 %	53.66 %	△
【取組状況等】 出張講座や広報こしがや、市ホームページを通じて避難行動要支援者支援制度についての周知啓発を行い、登録者数は469名となった。また、自治会の賛同数は376自治会中195自治会であり、賛同率は51.86%となった。								

３ 第５次越谷市障がい者計画の総括について

本計画において、「障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会」の考えのもと、１８１事業の取組と４２事業に関連する数値目標を設定し、これを基に様々な取組を進めたことにより、数値目標の達成に向けた様々な事業の推進を図ることができました。

しかしながら、令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症拡大により、会議や研修会などに係る事業実施が困難となり、令和５年５月に新型コロナウイルス感染症の感染症上の位置づけが２類から５類に移行し、各種制限が撤廃されたものの、それ以降も感染対策等により計画通りに進捗を図ることができなかったものもありました。

これらの進捗状況を踏まえ、次期計画である第６次越谷市障がい者計画に則り、計画通りに進めることができなかった事業等については、取組内容を見直す等の改善を図り、達成できるよう努めつつ、計画通りあるいは計画以上に進捗している事業等については、維持継続していくとともに、さらに発展させるための取組を進めていくことで、本市の障がい福祉の推進に努めます。